



ふくしまから はじめよう。若い力による風評対策提案事業

## NEWS レター -Vol.4-

福島県

平成26年11月  
福島県農林水産部

### 各団体のイベント情報や取り組みを紹介

福島県は、原子力災害に伴う福島県産農林水産物に対する風評を払拭し、消費や販路の拡大を図ることを目的に「ふくしまから はじめよう。若い力による風評対策提案事業」を実施しています。

本事業では、9団体と委託契約を締結し、斬新な企画に基づく様々な活動を全国各地で展開しています。11月から12月にかけて開催する各団体のイベント情報や取り組みについて、お知らせします。

### ピックアップ！

#### 「特定非営利活動法人 福島県自然体験合校協会」

#### ～会津地区13カ所の「道の駅」駅長おすすめの絶品特産品が集結！～

第5回となる道の駅PRイベントでは、会津地区にある13カ所の道の駅の協力のもと、「駅長推奨、セレクション13」と銘打ち、各駅長がお薦めする商品の紹介と試食を通じて、会津の魅力をアピールします。当日は、吉本芸人の「ぺんぎんナッツ」や東京FMをはじめ全国ジャパンFMネットワーク38局で放送されている「ラジアンリミテッドF」のパーソナリティー「やまだひさし」氏も来場し、会場を盛り上げます。

■日時：11月16日(日)

お笑いライブ&トークショー

・ぺんぎんナッツ 11:30～12:30

・やまだひさし 12:40～13:30

■場所：道の駅あいづ湯川・会津坂下

(福島県河沼郡湯川村大字佐野目字5-78-1)



11月2日(日)に道の駅ふくしま東和で開催したPRイベントの様子  
大勢の参加者で賑わいをみせた

## 11月・12月イベント情報

### 「福島県旅館ホテル生活衛生同業組合青年部」

～「ごはんを何杯でもおかわりしたくなるような～」朝ごはんレシピコンテスト開催～  
～福島県の宿に泊まって、福島県産品を購入して、豪華賞品が当たるキャンペーンを実施～

#### <朝ごはんレシピコンテスト>

「ごはんを何杯でもおかわりしたくなるような～」をテーマに、福島県産品を利用した朝ごはんレシピコンテストを開催します。

応募していただいたレシピの中から厳正な審査によりグランプリを決定し、12月23日(火・祝)に発表会を行います。最終選考に残ったレシピ発案者には賞品を贈呈します。応募方法はふくしま朝ごはんプロジェクト「じいばあ朝」ホームページの「お問合せ」からメールしていただくか、ふくしま朝ごはんプロジェクト「じいばあ朝」事務局宛にFAXでお申込みください。

- 応募方法 ・ふくしま朝ごはんプロジェクト「じいばあ朝」ホームページの「お問合せ」からメール  
<http://jibanoasa.com/>
- ・ふくしま朝ごはんプロジェクト「じいばあ朝」事務局にFAX  
FAX.024-522-3941

■ 応募締切 平成26年12月15日(月)

#### <スタンプラリーキャンペーン>

福島県の宿に泊まって福島県産品を購入してスタンプをためて、ご応募いただくと1,300名様に豪華賞品が抽選で当たるキャンペーンを実施します。

ふくしま朝ごはんプロジェクト「じいばあ朝」参画施設にて宿泊時、商品購入時にスタンプを発行しております。施設に設置されているキャンペーン用冊子にスタンプ台紙がついておりますので10スタンプ貯めて官製ハガキにてご応募ください。詳細は、ふくしま朝ごはんプロジェクト「じいばあ朝」ホームページ(<http://jibanoasa.com/>)より御確認ください。

※福島県内の当冊子記載の販売所で県産品を購入すると500円毎に小スタンプ1個を付与

※福島県内の当冊子記載の宿泊施設に1泊で大スタンプ(小スタンプ5個分)1個を付与

※小スタンプ10個分で応募可能となります。

■ 問合せ先 ふくしま朝ごはんプロジェクト「じいばあ朝」事務局 TEL.024-521-1448



## 「特定非営利活動法人 フロントニア南相馬」

### ～第1回「全国ご当地ヒーロー料理バトル」を鳥取県で開催～

福島県の農林水産物の魅力を伝え、風評払拭を図るために、福島のご当地ヒーローが全国各地のご当地ヒーローと料理で対決する「全国ご当地ヒーロー料理バトル」を展開します。料理対決では、福島の食材と、対決するご当地の食材をテーマに対決するため、2つの食材を組み合わせた新しい料理が生まれるところも見所です。

第1回目となる今回は、鳥取県を舞台に、福島のご当地ヒロイン「双神ミネート」と鳥取のご当地ヒーロー「白兔跳神イナバスター」が、福島の「鮭」と鳥取の「梨」をテーマ食材に、対決を行います。

■日時：11月24日(月・祝)13:00～17:00

■場所：伯耆しあわせの郷 集い・学びのゾーン内 調理実習室  
(鳥取県倉吉市小田458)



福島県からはご当地ヒロイン「双神ミネート」が参戦

## 「特定非営利活動法人 TATAKIAGE Japan」

### ～ふくしまの選りすぐりの食材を使ったライスバーガー「こめて」を発売～

福島県食材の風評払拭に向けた福島県産ライスバーガー「こめて」の販売イベントを開催します。秋刀魚のポーポー焼き、エゴマ豚、会津地鶏など、福島県の選りすぐりの食材を使用し、お米と具材まるごとおいしい“ふくしま”を味わっていただけます。会場では、福島食材の美味しさが詰まった映像をご覧いただきながら、福島県産食材の美味しさと安全性をPRします。

■日時：11月21日(金)・22日(土)11:00～14:00

■場所：池袋商業施設WACCA 5階キッチンスタジオ「LUPE」  
(東京都豊島区東池袋1-8-1)



10月17日(金)・18日(土)に同会場販売PRした福島県産ライスバーガー「こめて」

## 「ineいわき農商工連携の会」

### ～福島の秋冬野菜を使った料理教室を開催～

秋冬野菜やお米を使った親子料理教室「福っ子・食の寺子屋」を開催します。いわきの久の浜の海水を使ってつくったお塩を使った福食メニューをみんなで作り、試食していただくほか、栄養面の解説なども行います。

- 日時： 12月7日(日)10:00～13:30
- 場所： 常磐共同ガス  
(福島県いわき市常磐湯本町日渡74-7)
- 講師： Hagiフランス料理店 萩 春朋 氏  
上級食育指導士 中村 寛子 氏
- 対象： 県内外に在住する親子



8月2日(土)に開催した親子料理教室「福っ子・食の寺子屋」の様子

## 「ふくしま食文化探検隊」

### ～「福島グルメの旅フェア」&「逆仕送RU」を実施～

立命館大学の衣笠キャンパス(京都府京都市)とびわこ・くさつキャンパス(滋賀県草津市)において、11月17日(月)～28日(金)まで、「福島グルメの旅フェア」を開催します。フェアでは、福島の郷土料理「会津ソースかつ丼」、「喜多方ラーメン」、「ひきな炒り」など全10種類のメニューを生協食堂で提供します。また同期間中、「福島グルメの旅フェア」メニューを食べて、レシートを専用の台紙に貼付し、応募すると、福島の特産品を大切な人にプレゼントできる「逆仕送RU」企画を実施します(先着650名)。連携パートナーの福島屋商店と厳選したトマトの詰め合わせや野菜ラスク、ラーメンセットなど計10品からお選びいただけます。



福島グルメの旅フェアメニュー

- 日時： 11月17日(月)～28日(金)
- 場所： 立命館大学衣笠キャンパス 存心館地下食堂、諒友館食堂、以学館地下食堂  
びわこ・くさつキャンパス ユニオンカフェテリア1階、リンク食堂

## ふくしまからはじめよう。若い力による風評対策提案事業 概要

### <事業概要>

- 委託事業名 ふくしまからはじめよう。若い力による風評対策提案事業
- 委託料 1団体8,000,000円(消費税及び地方消費税含む)を上限。
- 募集团体
  - ・大学生、短期大学生を主たる構成員とする団体
  - ・特定非営利活動法人(NPO法人)
  - ・農林漁業者を主たる構成員とする団体
  - ・商工業者を主たる構成員とする団体

※なお、福島県外に主たる事務所を置く団体等にあたっては、  
県内の団体等の共同提案とする。
- 委託契約期間 平成27年2月28日まで
- 公式ホームページ <http://www.wakaichikara.jp/>

### <選定団体>

No.	団体名	事業名	事業内容
1	福島県旅館ホテル生活衛生同業組合青年部	ふくしま 朝ごはんプロジェクト	「宿の朝ごはん」は郷土が育む元気の源というコンセプトのもと、福島県内の農林水産物生産者と旅館業界がコラボし、この提案事業を通して、福島県産「食」の安全・安心と美味しさをアピールするとともに、新たに県内の農林水産業や観光業、行政の連携した情報や商品提供のシステムを構築したいと考えています。
2	土湯温泉ふくしまディステーション推進会議	～ふくしまの小さな温泉地 土湯温泉の若旦那の挑戦！ふくしまの食の安全安心を世界に発信しふくしまの観光振興に繋げる～「つちゆ à la food ふくしま」	アラフドとは、新雪を踏み固めて道筋をつくるという土湯温泉の方言、観光地としての特色を活かし、ふくしまを訪れる宿泊者の方々に、安全・安心な食材を提供することで、ふくしまを理解して頂き、又、首都圏で食の安全・安心を発信し、現在のふくしまの本当の姿を伝えることが、風評払拭につながるものと考え行動します。
3	特定非営利活動法人 福島県自然体験合校協会	福島応援の風を西から。東北へ吹く西風の軌跡は日本全土。	福島県の美味しい地元農産物を全国へ発信し、未だに懸念される風評を吹き飛ばすために、3つの大きな柱で活動します。①吉本興業との連携 ②東京FMとの連携③お届けプロジェクトとの連携。以上の柱をもとに、全国区の知名度とネットワークを大いに発揮し、日本全国に発信します。
4	特定非営利活動法人 福島インターネットテレビジョン	World meets Fukushima ～福島産のセカイメシ～	福島県で採れる農林水産物は非常に多く、日本の食を担う中心地でもあります。この福島産の農林水産物を用いて、世界各国の料理を作ると本当においしいのです！ 私たちのプロジェクトでは、世界各国の料理レシピを福島県産品を原材料として作ることを提案し、おいしい福島産『セカイメシ』を福島から世界へと発信します。
5	特定非営利活動法人 フロンティア南相馬	全国ご当地ヒーロー料理バトル！～福のしまへー食足発～	福島県内で活躍する4人のご当地ヒーローが、福島県産品を持って全国を駆け巡る！全国各地のご当地ヒーローと福島県産品を使ったレシピで料理バトル！訪問先の食材や名物料理ともコラボする、新しいレシピを開発するヒーロー達・・・果たして彼らは、風評を倒し食で繋がる福島を紡ぎ上げる事が出来るのか？
6	特定非営利活動法人 TATAKIAGE Japan	福島県産ライスバーガー“こめて” 販路開拓プロジェクト	福島県産のお米を使ったライスバーガー“こめて”の製品開発・販路開拓を行います。私達は、福島県の農産物の風評払拭のため、「可哀そうだから買う」ではなく「美味しいから買う」をコンセプトに、生産者の方々の想いをこめて、国内更には海外へ“こめて”を販売し、その美味しさを広めて参ります。
7	ineいわき農商工連携の会	地産旬味 福食MENUプロジェクト	福島県産食材・素材の風評対策と魅力創出を行います。シェフと生産者加工者等の連携を推進し、県産食材を積極的に使うシェフを増やし、開発メニューを増やすことで、消費者ニーズを創出します。同時に子どもたちへの食育の機会をつくり、食育情報発信と食育教材テキスト化も同時に行うことで親子等へ伝え、福島っ子の元気な体づくりへつなげます。
8	特定非営利活動法人 Power of JAPAN	ふくしまからはじめよう。ふくしまから つなげよう。	当プロジェクトは、福島県の生産者や県外・県内消費者及び加工事業者等のみならずが福島県産の食でつながるプロジェクトです。貨物列車でのイベント、料理専門誌との連携で福島県産の食を広くPRし、1人でも多くのみなさまに福島県の魅力を伝えていきます。
9	ふくしま食文化探検隊	食べた分だけ伝えたい ふくしまベジ食×RUプロジェクト	社会心理学の知見を生かし、「1人が身近な2人に伝える」をテーマに展開します。福島県内のNPO法人と連携し、福島県産の食材を身近に感じてもらう企画や、福島県を実際に訪問して体験した福島県の魅力を発信していきます。肌で感じた福島県の魅力を「伝える」ことで、関西から風評の払拭に貢献します。